

～ カンボジア国 ～



緑の募金

# 緑の国際ボランティア研修 (2022年度)

本研修は、国際緑化活動の重要性や「緑の募金」が果たす役割について理解を深めることを目指して、カンボジア国で実施するものです。カンボジア国では収奪的な森林伐採による森林の減少と劣化が深刻な状況にあり、1973年に72%であった森林面積率は、2014年には48%まで激減しました。本研修では、現地大学生とグループを組み、NGOが取り組む植林活動地の視察、植林活動体験、地域住民への聞き取り調査や意見交換を通じた農山村調査等を実施します。本研修を通して、カンボジア国における森林管理の現状やその背景を学び、人と自然との共生の在り方や持続可能な開発についての考察を深めてみませんか。

## 【主なスケジュール (予定)】

- 1日目 東京発 (夜発便)
- 2日目 カンボジア国プノンペン国際航空に現地集合 (到着便)、環境修復保全機構 (ERECON) カンボジア支局訪問・カンボジア国王立農業大学の学生とオリエンテーション、キリングフィールド訪問等
- 3日目 コンポンチャムへ移動、苗床 (苗木の保育圃場) やバンブーブリッジの見学等
- 4日目 「緑の募金」で取り組むカンボジア国コンポンチャム州における地域住民と協働での植林活動、現地視察と課題に向けた農村調査等
- 5日目 「緑の募金」で取り組むカンボジア国コンポンチャム州における地域住民と協働での植林活動、現地視察と課題に向けた農村調査、調査結果の村人へのフィードバック等、プノンペンへ移動
- 6日目 カンボジア国王立農業大学での研修成果発表会、ローカルマーケットでの視察等  
東京へ空路移動 (夕発便) 現地解散
- 7日目 東京着 (到着便)



**研修期間** : 2023年2月23日 (木) ~3月1日 (水) 7日間

**定員** : 8名程度

**費用** : 120,000円

(事前研修、資料、往復国際航空券、海外旅行保険、現地宿泊、現地移動、渡航サポート、随行・ガイドを含む)

※ 本研修は「緑の募金 (<https://www.green.or.jp/bokin/>)」の支援を得て実施します

**応募〆切** : 2022年11月11日 (金) 必着

**応募資格** : 国際緑化協力に関心がある方、国際NGO活動に興味のある方など

**応募方法** : 団体ウェブサイトの「What's New?」より申請書をダウンロードしメール添付にて提出

※ 詳しくは、「募集要項 緑の国際ボランティア研修 (2022年度) ※10/12 更新」をご覧ください。

## お問い合わせ・申込先

特定非営利活動法人 環境修復保全機構 (ERECON)

緑の国際ボランティア研修担当: 河邊・青木・上野

住所 : 東京都町田市小野路町 2987-1

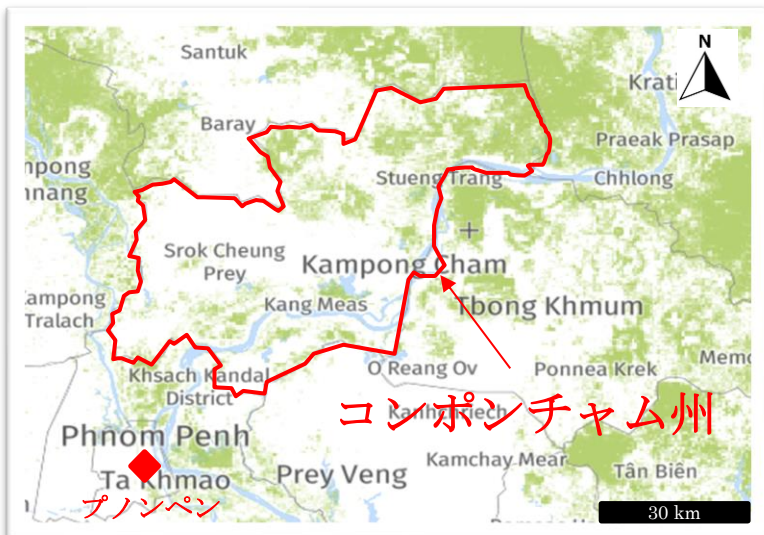
Tel/Fax : 042-736-8972 E-mail : [hq-erecon@nifty.com](mailto:hq-erecon@nifty.com) Website : <https://www.erecon.jp/>



～ カンボジア国 ～

＜カンボジア国における森林の現状と取り組み＞

近年、カンボジア国では経済性のみに重点を置いた開発により、自然環境や生物多様性が急速に失われています。環境・経済・社会が調和した「持続可能な開発」の重要性が認識されているものの、山林に近い農山村域では貧困からの脱却を目指した違法伐採が続いているとともに、経済的土地営業権（経済的土地コンセッション契約）等の影響により、森林面積の減少に歯止めがかかりません。1980年代は310万haの国土が農地であり、1,180万haが森林に覆われていました。しかし、1993年頃には森林面積の内70万haが農地へと転換されました。クメールルージュ前後の時期から森林面積は徐々に減少しており、特に1970年代から1990年代末に至る間に多くの森林が失われました。しかし、材木の輸出は国家歳入を確保する上で重要な位置を占めており、カンボジア国政府も森林伐採に対して積極的な規制には至りませんでした。本研修で訪問するコンポンチャム州でも農地へ転換後に森林を再生していく動きがないまま時間が経過し、自然資源に依存したこれまでの生活様式を維持しにくくなっています。環境修復保全機構ではコンポンチャム州における里山再生および生物多様性の保全を目指した植林活動を通して、農山村地域において持続可能な開発に取り組んでいます。



事業対象地のコンポンチャム州ではカンボジア国内でも顕著な森林破壊が確認され、州の森林被覆率は2016年時点で11%となっています。

■ 森林

引用: National Aeronautics and Space Administration, (NASA) Global Forest Watch

… 主催・共催団体紹介 …



公益社団法人  
国土緑化推進機構 (NALAPO) (<https://www.green.or.jp/>)

国土緑化推進機構は、国土緑化運動を推進することにより、森林資源の造成、国土の保全及び水資源のかん養並びに生活環境の緑化をはかり、より心豊かな国民生活の実現、日本の文化的発展、さらには地球環境の保全に寄与すること及び国際貢献を目的としています。緑の国際ボランティアでは、青少年が緑の募金国際協力事業地のワーキングツアーに参加し、将来、国際緑地協力の場で活躍できる見識豊かな国際ボランティアを養成することを目的としています。



特定非営利活動法人  
環境修復保全機構 (ERECOM) (<https://www.erecon.jp>)

環境修復保全機構は、タイ、カンボジア、フィリピン等を中心にアジア諸国における「農業的・都市的開発と自然環境との調和」を目指した環境修復保全に取り組んでいます。また、環境教育啓発の活動を通して、現地の人々が自然資源を持続的に利用していけることを目的として活動しています。